

「ダニエルは、王の食べるごちそうや王の飲むぶどう酒で身を汚すまいと心に定め、身を汚さないようにさせてくれ、と宦官の長に願った。」

ダニエル書 1章8節

ダニエルは捕囚によりバビロンに移され、少年期より代々の王に任せ、信仰を全うした人物です。そこには、信仰を知らない異教の世界の中で生きる私たちと共通の戦いがありました。私たちはこの時代に信仰を保つていくために何が必要なかをダニエルの姿の中に教えられます。

第一は、この世で生きることの難しさです。異教社会の中でクリスチャンとして生きることが、どんなに困難に満ちているのかを知らなければなりません。その中で、自

分自身が受け入れられるもの、決して手を染めてはいけないものを知り、私たちを真の神から引き離そうとするものから離れる意思的な行動が必要です。他人に従属するのではなく、自分で物事を決めていく決断力が必要です。

第二に教えられやすい心です。年齢を増しても常に人の意見に耳を傾け、良いものを吸収しようとする柔らかい心を持つことです。この心は幼い時から養われていたものでした。そのダニエルに神は語ってくだ

さり、幻を見せてくださったのです。

第三は外側に向けられた目です。自分の幸せや自分の地位、自分の何かに固執せず、ダニエルの目は同胞のため、また自分の置かれた国の異邦の民に向けられていました。それは神から与えられた使命だったので、彼は神に愛されていることを常に確認していました。神に直接触れていただくとき、人は自分の弱さ足りなさを知り、神に近づくのです。そこで愛されていることを再確認する時、神の前に神のために聖く生きたいとの願いが与えられるのです。神は私たちを支えてくださり、その生涯を全うさせてくださるのです。

【報告 消息】

・教団臨時総会 2021年度の教職人事が発表されました。コロナ禍で一箇所に集まることはできずにインターネットでの初めての開催となりましたが、主導きと守りをいただいで行うことができました。

本紙中面にもある通り、4月1日付けで大規模な人事異動が行われます。主導きを受け止めながら落ち着いて進んでいけるように、教団・各シオン・教職者のためにお祈りください。

出席された代議員の方々の労に感謝します。

・小学科報告 17日からインターネット配信が行われています。24日からはメンバーとスタッフがインターネットを通じた交わりも開始し、数名のメンバーが参加しました。コロナ禍で集まることできませんが、できることを積み重ねて子どもたちを励ましていきたいと願っています。お祈りください。

■2月、3月の礼拝説教について

聖書箇所と説教者

2月7日 ダニエル書② 荻野牧

14日 テモテ第一 石田牧

21日 テモテ第二 いつ子牧

28日 黙示録① 石田牧

3月7日 黙示録② 荻野牧

14日 マルコ① 石田牧

21日 マルコ② いつ子牧

28日 (パームサンデー)

マルコ③ 石田牧

4月4日 (イースター)

マルコ④ 荻野牧